

2020年7月9日

## 愛媛大学 物性制御工学研究室(小林研) 新しいイエロー・ステージ研究活動ガイドライン

本ガイドラインは、6月3日付の「愛媛大学 物性制御工学研究室(小林研) イエロー・ステージ研究活動ガイドライン」の見直しを、工学部・工学系の研究ガイドライン変更に伴い行ったものである。

### (1) 卒業研究(B4)・修了研究(M1, M2) 活動記録表の提出 (※すべてのステージ)

①エクセルファイル「小林研 活動記録表(氏名)」内のタブ(週の日付) 研究予定・実施表を毎週金曜日に作成する。

※就職活動中の人は、(週の日付) 研究予定・実施表に就活の状況を反映させて研究予定・実施表に記入して提出してください。

②毎週金曜日の 17:00-23:00 に小林研究室の Dropbox(小林研究室 学生活動記録)へ提出することが、今後、卒業論文研究、修士論文研究に携わり卒業・修了するための必要条件としますので全員提出すること。これは、指導教員が責任をもって卒論研究・修論研究を指導するために必要な資料となります。Dropbox の URL は下記の通り。

Dropbox(小林研究室 学生活動記録)

<https://www.dropbox.com/request/Yc3ZRKb57qldxCp3oz41>

## (2) イエロー・ステージにおける新しい研究室活動様式

6月から制限付きで研究室での活動が可能になります(工学部長の許可の後)。COVID-19に対する感染対策を取りながら安全に研究を行うために、小林研究室では以下のように活動実施の条件・ルールを定める。

「大学に来て小林研究室で活動するための条件・ルール(イエロー・ステージ)」

- ① 研究室に来る前2週間の体温測定データを取っていること。
- ② 安静時の体温が平熱(体調が良く安静時の体温を1週間以上測定し算出しておくこと)より1℃以上高い場合は、研究室に来てはいけない。
- ③ 安静時の体温が37.5℃以上の場合も研究室に来てはいけない。
- ④ 大学に入構後はマスクを常に正しく着用すること。
- ⑤ 研究室の各部屋に入る前に、廊下に設置の消毒液で手を消毒すること。
- ⑥ 3密の回避を徹底すること。
- ⑦ 部屋を利用するときは、部屋のドアを開けっぱなしにして、適宜、窓も開けて換気を取りながら利用する。
- ⑧ 研究室で必要な実験等の作業が終わり次第、自宅に帰ること。自宅で出来ることは自宅で行う。
- ⑨ 実験装置を使用後は、装置の消毒を行う(エタノールによる拭き掃除)。
- ⑩ 2号館の東側入口から出入りし、上下階の移動は基本的に階段利用。

なお、部屋の利用をしている時に体調不良を感じた場合は、速やかに自宅に帰ること。その後の体調観察をして、発熱等がある場合は、指導教員に連絡をすること。

研究室の各部屋の利用に当たっては、3密を回避するためのルールとして、**下記に示した「室最大人数」の倍程度の人数まで許可する。**

棟名称	階数	施設管理番号	室番号	室名称	室面積	室最大人数	装置類(全て書いていない)	備考	
工学部2号館	1	134	134	試料作製室1	47	4	2	アーク溶解、バーナー、引張試験、圧縮機、デシケータ	平岡研究室と共同利用の部屋であるため、最大人数は2名とする
工学部2号館	1	147	147	実験室(1)	24	2	2	SEM(EDS)	
工学部2号館	1	149	149	実験室(2)	24	2	2	蛍光顕微鏡、高周波スパッタ、	
工学部2号館	1	150	150	実験室(3)	24	2	2	300kVTEM	
工学部2号館	2	237-a	237	実験室(4)	19	1	2	薬品、ドラフト、電解研磨、腐食測定	暗室に2人で入らない
工学部2号館	2	237-b	237	暗室	5	0	2	現像	
工学部2号館	2	239	237	実験室(4)	24	2	2	100kVTEM	
工学部2号館	2	243	243	実験室(5)	51	4	4	炉、研磨機	
工学部2号館	2	244	244	実験室(6)	48	4	4	顕微鏡、ミーティングテーブル	D3のAnshar氏が毎日研究する。したがって、他の学生は3人まで入室可
工学部2号館	2	247	247	学生室	46	4	4		学生は4人まで入室可
工学部2号館	2	248	248	岡野居室	22	1	2		
工学部2号館	2	250	250	小林居室	24	2	2		

## 「7月13日(月)～7月17日(金)」の研究室の利用方法①

装置などの最終調整作業を、B4を中心に行います。なお、この作業期間におけるB4の居場所は、次のページに示した、研究室の利用方法②の各自がどの曜日に優先的に来ることができるかを示した一覧表に自分の名前がある曜日は、学生部屋を使い、無い曜日の時は、244号室のミーティングルームに席を置くこと。

### 7月13日(月) 9:00-15:00 岡野 指示

(作業内容)

薬品の整理(Web データとの整合性確認)、母材・試料のリスト作成)

(作業者)

鶴見(B4)、藤井(B4)、猪森(B4)、重松(B4)、谷口(B4)、  
正岡(B4)、本宮(B4)、小林(B4)、古川(B4)

(なお、小林は、8:30-16:00 まで四国中央市の企業へ出張して不在です。)

### 7月13日(月) 16:00-18:00 小林 指示

(作業内容)

炉調整作業(主にやり方の説明を小林から聞く)

(作業者: 修士課程に進学予定の者)

シリコニット: 重松(B4)

スーパーカンタル: 谷口(B4)

CA4: 本宮(B4)

CA5: 古川(B4)

マッフル: 藤井(B4)

横型: 鶴見(B4)

縦型: 使用予定がないので、まだ調整しない(この炉の調整は少し大変なのです..)

ソルト1: 正岡(B4)

ソルト2: 小林(B4)

### 7月14日(火)～7月17日(金) 9:00-20:00

この期間に各自担当の炉調整作業を終える。

## 「7月13日～9月11日」の研究室の利用方法②

M2 は学会発表ならびに修士論文に必要な実験を至急行う必要があり、優先的に研究ができるようにします。また、B4 も卒論研究を本格的にスタートさせないといけな  
い状況であり、週 2 回のペースで始める。M1 は講義であまり実験できないため、研  
究室利用は週 1 回とする。

月曜日 岡野(M2)、深田(M2)、堀口(M2)、佐々木(M2)、前内(M2)  
鶴見(B4)、藤井(B4)、猪森(B4)、重松(B4)、谷口(B4)

火曜日 岡野(M2)、深田(M2)、堀口(M2)、佐々木(M2)、前内(M2)  
鶴見(B4)、藤井(B4)、猪森(B4)、重松(B4)、谷口(B4)

水曜日 岡野(M2)、深田(M2)、堀口(M2)、佐々木(M2)、前内(M2)  
児玉(M1)、松田(M1)、安部(M1)、俊成(M1)、

木曜日 岡野(M2)、深田(M2)、堀口(M2)、佐々木(M2)、前内(M2)  
坂田(M1)、正岡(B4)、本宮(B4)、小林(B4)、古川(B4)

金曜日 岡野(M2)、深田(M2)、堀口(M2)、佐々木(M2)、前内(M2)  
正岡(B4)、本宮(B4)、小林(B4)、古川(B4)

まずは、これで運用してみる。りざぶ郎「小林研究室 部屋利用予約表」を使った各部  
屋の利用制御は、この期間の運用状況を見てから判断する。